

青空のもと春を彩る桜（小平市健康福祉事務センター）

令和4年3月定例会は、2月28日から3月30日の未明まで31日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和4年度の各会計予算など市長提出議案16件を可決しました。議員提出議案は、ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議など2件を可決し、1件を否決しました。請願は4件を採択しました。

また、「(仮称)まなびの森保育園花小金井」開園時(令和4年4月)の園庭面積の縮小について調査するための特別委員会を設置しました。

3月1日には、6つの会派から16件の代表質問があり、その後3月2日から3日間にわたり、25人の議員から51件の一般質問がありました。

## 3月定例会

# 令和4年度各会計予算を可決 ～一般会計予算は774億4千4百万円に～

## 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会 (百条委員会) を設置

(地方自治法第100条に基づき、市内認可保育園開園時の園庭面積の縮小について調査するための特別委員会です。)

## 今後の市議会の日程(予定)

### 開会時刻

原則として午前9時

### 場 所

市役所7階

5月15日(日) 市民と議会の意見交換会(※1)  
5月24日(火) 総務委員会  
請願・陳情締切り(午前中)(※2)  
5月25日(水) 生活文教委員会  
5月26日(木) 厚生委員会  
5月27日(金) 環境建設委員会  
5月30日(月) 幹事長会議  
6月 2日(木) 議会運営委員会(※3)  
6月 7日(火) 6月定例会本会議(初日)  
6月 8日(水) 6月定例会本会議(一般質問)  
6月 9日(木) 6月定例会本会議(一般質問)

6月10日(金) 6月定例会本会議(一般質問)  
6月14日(火) 総務委員会  
6月15日(水) 生活文教委員会  
6月16日(木) 厚生委員会  
請願・陳情締切り(午前中)(※4)  
6月17日(金) 環境建設委員会  
6月21日(火) 広聴広報特別委員会  
6月22日(水) スマートシティ小平推進調査特別委員会  
6月23日(木) まちづくり調査特別委員会  
6月24日(金) 幹事長会議

6月27日(月) 議会運営委員会(※3)  
6月30日(木) 6月定例会本会議(最終日)  
広聴広報特別委員会(※3)  
7月19日(火) 広聴広報特別委員会

(※1) 詳細は、8面をご覧ください。  
(※2) 6月定例会初日上程の受付期限です。  
(※3) 開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。  
(※4) 6月定例会最終日上程の受付期限です。

市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会の日程は、市議会ホームページをご確認ください。

日程、開会時刻等に変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

### 令和4年度予算総額

(単位:千円、%)

	4年度 予算額	3年度 予算額	伸び率
一般会計	77,444,000	※70,326,110	10.1
特別会計			
国民健康保険事業	17,790,000	16,876,000	5.4
後期高齢者医療	4,839,000	4,569,000	5.9
介護保険事業	15,043,000	14,720,000	2.2
下水道事業会計			
収益的収入	4,307,712	4,303,819	0.1
収益的支出	3,864,827	3,845,279	0.5
資本的収入	1,710,019	891,157	91.9
資本的支出	2,694,375	1,735,203	55.3

※令和3年度一般会計予算額は、当初予算額686億7,000万円に補正予算(第4号)までの16億5,611万円を加えた額

### 令和4年度 一般会計予算。 各特別会計予算。 下水道事業会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計、特別会計及び下水道事業会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月8日から10日までの3日間、特別会計及び下水道事業会計は3月11日に審査が行われました。定例会最終日には、鈴木洋一一般会計予算特別委員長と佐藤徹特別会計・下水道事業会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計を賛成多数で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業会計を全会一致で可決しました。

市長の提案説明の概要は以下のとおりです。

【一般会計】  
予算総額は77億4千4百万円で、前年度の補正予算第4号いわゆる肉付け後予算に比べ

増の百16億円となっています。増となつています。将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを目指し、つながり共に創るまちこだいらの実現に向けて着実に歩みを進めるための予算としていきます。

【歳入】市税が17億4千4百万円の増のほか、普通交付税が9億6千万円の増を見込んでいます。これに伴い、臨時財政対策債の借入れは、13億9千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】民間保育園運営費等の扶助費が増額となるほか学校給食センター更新事業等により投資的経費を大幅に増額しました。

【国民健康保険事業特別会計】  
予算総額は77億9千9百万円で、前年度比5・4%、9億1千4百万円の増となっています。

【歳入】保険料は前年度比2・7%、約8千8百52万円の増となっています。一般会計繰入金を21億9千万円、国民健康保険事業運営基金から2億9千万円を繰入れ収支の均衡を図ります。

【歳出】予算総額の6割強を占める保険給付費は前年度比6億

円増の百16億円となっています。増となつています。将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを目指し、つながり共に創るまちこだいらの実現に向けて着実に歩みを進めるための予算としていきます。

【歳入】市税が17億4千4百万円の増のほか、普通交付税が9億6千万円の増を見込んでいます。これに伴い、臨時財政対策債の借入れは、13億9千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】民間保育園運営費等の扶助費が増額となるほか学校給食センター更新事業等により投資的経費を大幅に増額しました。

【国民健康保険事業特別会計】  
予算総額は77億9千9百万円で、前年度比5・4%、9億1千4百万円の増となっています。

【歳入】保険料は前年度比2・7%、約8千8百52万円の増となっています。一般会計繰入金を21億9千万円、国民健康保険事業運営基金から2億9千万円を繰入れ収支の均衡を図ります。

【歳出】予算総額の6割強を占める保険給付費は前年度比6億

円増の百16億円となっています。増となつています。将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを目指し、つながり共に創るまちこだいらの実現に向けて着実に歩みを進めるための予算としていきます。

【歳入】市税が17億4千4百万円の増のほか、普通交付税が9億6千万円の増を見込んでいます。これに伴い、臨時財政対策債の借入れは、13億9千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】民間保育園運営費等の扶助費が増額となるほか学校給食センター更新事業等により投資的経費を大幅に増額しました。

【国民健康保険事業特別会計】  
予算総額は77億9千9百万円で、前年度比5・4%、9億1千4百万円の増となっています。

【歳入】保険料は前年度比2・7%、約8千8百52万円の増となっています。一般会計繰入金を21億9千万円、国民健康保険事業運営基金から2億9千万円を繰入れ収支の均衡を図ります。

【歳出】予算総額の6割強を占める保険給付費は前年度比6億

円増の百16億円となっています。増となつています。将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを目指し、つながり共に創るまちこだいらの実現に向けて着実に歩みを進めるための予算としていきます。

【歳入】市税が17億4千4百万円の増のほか、普通交付税が9億6千万円の増を見込んでいます。これに伴い、臨時財政対策債の借入れは、13億9千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】民間保育園運営費等の扶助費が増額となるほか学校給食センター更新事業等により投資的経費を大幅に増額しました。

【国民健康保険事業特別会計】  
予算総額は77億9千9百万円で、前年度比5・4%、9億1千4百万円の増となっています。

【歳入】保険料は前年度比2・7%、約8千8百52万円の増となっています。一般会計繰入金を21億9千万円、国民健康保険事業運営基金から2億9千万円を繰入れ収支の均衡を図ります。

【歳出】予算総額の6割強を占める保険給付費は前年度比6億

円増の百16億円となっています。増となつています。将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを目指し、つながり共に創るまちこだいらの実現に向けて着実に歩みを進めるための予算としていきます。

【歳入】市税が17億4千4百万円の増のほか、普通交付税が9億6千万円の増を見込んでいます。これに伴い、臨時財政対策債の借入れは、13億9千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】民間保育園運営費等の扶助費が増額となるほか学校給食センター更新事業等により投資的経費を大幅に増額しました。

【国民健康保険事業特別会計】  
予算総額は77億9千9百万円で、前年度比5・4%、9億1千4百万円の増となっています。

【歳入】保険料は前年度比2・7%、約8千8百52万円の増となっています。一般会計繰入金を21億9千万円、国民健康保険事業運営基金から2億9千万円を繰入れ収支の均衡を図ります。

【歳出】予算総額の6割強を占める保険給付費は前年度比6億

円増の百16億円となっています。増となつています。将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを目指し、つながり共に創るまちこだいらの実現に向けて着実に歩みを進めるための予算としていきます。

【歳入】市税が17億4千4百万円の増のほか、普通交付税が9億6千万円の増を見込んでいます。これに伴い、臨時財政対策債の借入れは、13億9千9百万円の減を見込んでいます。

【歳出】民間保育園運営費等の扶助費が増額となるほか学校給食センター更新事業等により投資的経費を大幅に増額しました。

【国民健康保険事業特別会計】  
予算総額は77億9千9百万円で、前年度比5・4%、9億1千4百万円の増となっています。

【歳入】保険料は前年度比2・7%、約8千8百52万円の増となっています。一般会計繰入金を21億9千万円、国民健康保険事業運営基金から2億9千万円を繰入れ収支の均衡を図ります。

【歳出】予算総額の6割強を占める保険給付費は前年度比6億

### フォーラム小平 賛成

つながり、共に創るまちこだいらを目標として、おおむね適正な予算と判断

必要なサービスが維持され、おおむね適正な予算と判断する。①小平第十一小学校の建て替えなどの投資的経費等は、市の発展に寄与する。②DX推進方針の策定を評価する。③適正で迅速な新型コロナウイルスワクチン接種など市民に寄り添う姿勢は評価するが、エッセンシャルワーカーへの支援が少ないと感ずる。

④児童発達支援センターの運営開始などは市の特色となる。⑤ゼロカーボンシティ宣言は評価するが、呼びかけだけにせず宣言を実行するよう求める。⑥公立学童クラブにおける宅配弁当の実施を検討すべきと考える。なお、鉄道立体化は機運醸成のための努力を求める。GIGAスクール構想は、個別最適化の教育の早期実現を求める。

### 市議会公明党 賛成

会派として要望し続けた事業が一定程度計上されている

①マイナンバーカードの交付推進施策は積極姿勢を感じた。②ゼロカーボンシティ宣言は会派で要望したもので評価する。③耐震化への改修補助等は市民に寄り添った対応と評価する。④ファーストバスターサポーター事業は子どもの貧困対策として効果的であり高く評価する。⑤新型コロナウイルスワクチン3回目接種

⑥まちは堅調に進んでいる。⑦指導者用デジタル教科書導入等はこれからのデジタル化に即した事業である。なお、職員の適正配置は引き続き検討を要望するとともに、魅力ある職場づくりが重要であると指摘する。コロナ禍での高齢者施設利用者等のトラブルに対し適切な対応等を求める。

### 政和会 反対

自主財源確保やDX関連の取組が不足している点などを指摘

①ふるさと納税で市の歳入が失われる現状を放置する姿勢は怠慢である。②経常収支比率97・5%で弾力性が低い。③DX関連予算が前年度より少ない。④東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金を子どものためではなく指導者用デジタル教科書導入に充てたことは基金の目的と矛盾する。⑤花小金井武

道館廃止後の機能移転の予算が反映されていない。⑥市制施行60周年事業は市民に役立つ内容にすべきである。⑦みどり率30%達成のビジョンが見えない。⑧ゼロカーボンシティ宣言をしたが、脱炭素の機運向上の姿勢が見られない。⑨鉄道立体化は積極的に取り組むべきである。⑩ICT教育は個々の子どもに合わせた対応策が事業化されていない。

### 一般会計予算に対する 各会派の討論(要旨)

①自宅療養者等への食料品等の支援などは評価するが、市内でのPCR検査体制拡充等を要望する。②オンライン学習費の新規追加等を評価するが、ICT支援員補充を要望する。③認可保育園3園の整備は評価するが、さらなる待機児童解消を求める。④ゼロカーボンシティ宣言を大きく評価するが、容器包装プラスチック無料化の検討を前倒しで行うことを要望する。⑤性的少数者等交流会実施を評価する。⑥広島市への生徒派遣など平和事業を評価し、今後の充実を要望する。なお、教職員の乳がん検診等は復活を強く要望する。駅前再開整備等は、開発優先の方向性で進むことに強い懸念を抱いている。公立保育園の廃園方針等は少人数学級実現に逆行する。

### まちづくり市民こだいら 反対

市債を増やし、土木費偏重の予算になっている

①小平駅北口地区再開発は、権利者の3分の2の同意が得られない段階で都市計画決定を進める姿勢は容認できない。②鷹の台駅前広場整備は、市民の意見を取り入れられまちづくりへの転換が求められる。③鎌倉公園整備事業は、農業を継続しようとしている農地を取り上げ農業公園にすることは疑問である。④学校給食センターの

更新事業は、PFI方式が適切だったかなどについての検証が求められる。なお、性的少数者等交流会事業は回数増加を期待する。ファーストバスターサポーター事業は不安を抱える子育て家庭への助けになる。農業振興費の大幅増を評価する。水路整備事業に期待する。教育ではオンライン学習環境の整備等がありがたく思う。

### 一人会派の会 反対

硬直化、水膨れした予算となっており、先行きが不安である

①予算と市債が膨らみ、経常収支比率は97・5%と悪化している。②小平駅北口地区再開発事業は、地権者の3分の2の賛成が得られないまま進めることは問題である。③地域センター19館及び地区公民館10館の複合化等はアナウンスが不十分である。④男女共同参画センターのスペースは、中央エリアに造られる複合施設に確保するよ

う求める。⑤新型コロナウイルスワクチン接種は、5歳から11歳の子どもへの拡大に反対する。⑥市職員の採用について、障害者雇用の精神障害者等への拡大は、担当部局に限らず横断的取組が必要である。⑦市立小・中学生の健全な成長、発達のための教育活動を求める請願が採択されたが、対策内容の早急な検討と公開を求める。

### 生活者ネットワーク 賛成

子どもや市民の暮らしを見据えた予算編成と評価する

認可保育園3園の開設や性的少数者電話相談等を評価する。なお、①いきいき協働事業が市民版環境配慮指針作成だけでは参加と協働が大きく後退している。②男女共同参画都市宣言は評価するが男女共同参画をどう進めたいのか見えない。③HPVワクチンの積極的勧奨再開は副反応被害拡大を懸念する。④認可保育園3園開設は評

価するが、保育のガイドライン策定を求める。⑤自閉症・情緒障害特別支援学級の設置はインクルーシブ教育の視点での検討を求める。⑥デジタル改革関連法公布に伴う施策は国との連携を求める。⑦学校給食センター更新事業など投資的経費がかさんでいる。⑧今後の公民館の在り方は市民に諮る必要がある。⑨緑の創出等を求める。

### 日本共産党小平市議団 賛成

新型コロナウイルス感染症対策、保育園待機児童対策などを評価

①自宅療養者等への食料品等の支援などは評価するが、市内でのPCR検査体制拡充等を要望する。②オンライン学習費の新規追加等を評価するが、ICT支援員補充を要望する。③認可保育園3園の整備は評価するが、さらなる待機児童解消を求める。④ゼロカーボンシティ宣言を大きく評価するが、容器包装プラスチック無料化の検

討を前倒しで行うことを要望する。⑤性的少数者等交流会実施を評価する。⑥広島市への生徒派遣など平和事業を評価し、今後の充実を要望する。なお、教職員の乳がん検診等は復活を強く要望する。駅前再開整備等は、開発優先の方向性で進むことに強い懸念を抱いている。公立保育園の廃園方針等は少人数学級実現に逆行する。

※1 用語の説明については7面をご覧ください。

# その他の 主な議案

## 令和3年度一般会計 補正予算(第13号)

本補正予算は、国及び都の補正予算により創設された補助金等を活用しながら市として速やかに着手する必要がある事業の経費を計上するものです。

歳出の主な内容は、放課後児童支援員等の収入を引き上げるための支援、コミュニティバス等の事業継続支援等を行います。

補正予算の規模は、歳入歳出をそれぞれ2千6百66万円増額し、総額をそれぞれ8百24億7千4百71万8千円とします。

財源構成としては、国庫及び都支出金を増額して対応します。

## 決議

決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

### ロシアによるウクライナ 侵攻に断固抗議する決議

ロシアによるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう断じて容認することができない暴挙であり、いかなる理由があっても、罪のない多くの人々の命を奪うことは正当化されません。

このような力を背景とした、一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて看過できません。

に対し一連のウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議するとともに、ロシア軍による攻撃の即時停止と無条件での撤退を強く求めます。

以上、決議します。

### 議会人事

東京都十一市競輪事業組合議会議員・東京都四市競艇事業組合議会議員

鈴木 洋一議員  
山岸真知子議員

### 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会(百条委員会)を設置

3月定例会最終日に、「(仮称)まなびの森保育園花小金井」開園時(令和4年4月)の園庭面積の縮小についての調査に関する決議が可決され、地方自治法第100条の規定により、同保育園が公募時の提案に比べ、開園時に大幅に園庭面積を縮小することに關する事項の調査を行うための特別委員会(※百条委員会)を設置しました。

◎委員長 ○副委員長  
福室 英後 ○山岸真知子  
虹川 浩 石津はるか  
伊藤 央 川里 富美  
さとう悦子 鈴木だいち  
外山まなみ 橋本 孝二  
細谷 正 水口かずえ  
吉本ゆうすけ

※百条委員会とは  
議決により地方自治法第100条に基づく調査権を委任された委員会です。関係者の出頭や証言、記録の提出を求めることができ、正当の理由なく拒否した場合に罰則が定められています。

## 代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派の代表者が行う質問をいいます。本市議会では、年に1回、3月定例会2日目に行っています。質問時間は各会派の所属議員数に応じて決まっております。市長または教育長が答弁します。今回は、6会派から16件の質問があり、紙面にはその質問及び答弁の要旨を掲載しました。(QRコードの注意事項等は、4面「QRコードについて」をご覧ください。)

## 政和会



比留間洋一議員

市長が目指すこれからのまちづくりについて

議員 自主財源確保について、今後の市の取組は。

市長 自主財源の根幹である市税は、納付機会の拡大を図り徴収率向上を目指す。第1期経営方針推進プログラムに掲げた自主財源確保につながるプログラムに、庁内横断的に取り組むことで財政負担を軽減し、持続可能な行政運営を実現していく。

議員 市民の利便性と市役所の効率性をアップさせるDX推進を

議員 市長が考える小平市のスマート自治体への転換に向けて、モデルとする自治体はあるのか。

市長 特定の自治体はないが、全国の自治体で各地域の特色や課題に応じた様々な取組を実施している中で、これらの取組事例について情報を収集し、市における活用を研究していく。

市民のたための公共施設マネジメントを

議員 これまでの公共施設マネジメントを振り返り、財政的な効果と延べ床面積削減の進捗は、

市長 施設ごとの効果は算出していないが、延べ床面積の20%削減で投資的経費等も20%削減されると試算している。延べ床面積は平成28年4月1日時点と比べ令和2年度末時点で8千98平方メートル、2.59%の増である。

子どもたちの個別最適な学びの機会を守るために

議員 タブレット端末を活用し、個別最適化を図っていく際、独力で先取り学習ができる児童・生徒の個性を伸ばすには、

教育長 各学校の教育計画の下、学習指導要領を基準とした学習活動を進めているが、今後求められる配慮であると考えている。

【掲載分以外の質問項目】

○みどり豊かな小平の環境を守るために 外1件

市議会公明党

虹川 浩議員

小平市の未来へのビジョンについて

議員 デマンド交通を含め公共交通体系の再構築への考えは。

市長 コミュニティバス等の運行実施に至らなかった地域への対策として、デマンド交通も有効な手段の1つとなる可能性がある。一方で路線バス等への影響や経費面の課題もあるため、地域の特性を踏まえ関係機関等と協議し検討する必要がある。

議員 市全体の公共交通体系の再構築については、今後、市の公共交通に対する基本的な考え方の見直しを進める中で検討していく。

コロナ禍で弱い立場に陥った女性、若者、高齢者等への施策

議員 コロナ禍で弱い立場に陥って孤立する高齢者への施策は、

市長 地域包括ケア推進計画に

基づき地域の見守り活動を進めてきた。引き続き、多様な主体による見守りを広げ、地域で活動している人々が連携しながら地域全体で見守る仕組みづくりに取り組みしていく。また、引き続き介護予防見守りボランティアや民生委員・児童委員などによる見守りを行うなどしていく。

コロナ禍での子どもたちの教育機会の確保とチーム学校の取組

議員 教育現場が抱える課題と、それに対するチーム学校としてのバックアップは。

教育長 前者は、新型コロナウイルス感染症の拡大により教職員の業務が逼迫していると捉えている。後者は、児童・生徒が陽性になった場合の学校からの報告等について、教育委員会での内容の確認や教育活動の対応方針の検討などの支援を行っており、引き続き、可能な限り学校への支援に努めていく。

フオーラム

吉本ゆうすけ議員

市長の見据える市政運営と令和4年度予算について

議員 前市長の基本政策を踏襲しつつ重点施策として据えた取組のうち、防災・減災は令和4年度どこまで進める考えか。

市長 市街地再開発、都市計画道路整備、下水道の耐震化やゲリラ豪雨対策、大規模公園整備など災害に強い都市基盤整備、まちの防災機能強化に力を入れ、事業の着実な推進を図っていく。

市民とつくる87の政策の進捗状況について

議員 政策の中心について市長の思いを職員にどう伝え、実現

に向けどう指示を出してきたか。

市長 87の政策を託してもらった市民の意を酌み、思い等が形になるよう財源確保等の課題を確認しながら具体化に向け検討するよう伝えていく。令和4年度実施事業の検討に当たっても、同政策の実現に資する事業に取り組みすることとして指示している。

小平市の教育への取組と課題について

議員 学習者用端末を用いた教育活動について、現状の認識とさらなる活用についての考えは。

教育長 様々な教育活動の中で、端末の効果的な活用方法を各校对で実践している。事例を学校間で共有しながら一層の活用を推進しつつ、令和4年度より家庭への持ち帰りを開始し家庭学習等に活用できるようにする。

日本共産党

細谷 正議員

市民の声を反映した施策の実現を目指せ

議員 ①新型コロナウイルス感染症に対し、保健所と迅速で緊密な連携を図っているか。

②公立保育園は9園を堅持し、廃園すべきではないが、認識は。

③小平第十一小学校等の合築工事は、一旦立ち止まり教室の増設・増築をすべきだが認識は。

市長 ①多摩小平保健所と市の役割分担を前提としつつ、保健所業務が逼迫したときの自宅療養者への支援などについて、圏域5市とともに情報共有し緊密に連携している。引き続き、圏域5市と保健所で連携していく。

②将来的な就学前児童数の減少や公立保育園の老朽化を踏ま

え、私立保育園への移行による財源確保を図り、地域全体の保育の質の向上及び安定した保育行政の実現を目指す考えである。

教育長 ③公共施設マネジメント推進計画に基づき、学校の更新時期を捉え、地域コミュニティの拠点となる施設を複合化させる方針である。複合化後の学校施設においても、少人数学級の取組など必要な教育環境の整備に努めていく。また、将来の児童数の推移を適切に見極め必要な教室数を確保していく。

生活者

ネットワーク

山浦まゆみ議員

人口減少時代においても住み続けたい魅力ある市であるために

議員 ①農地を含めた豊かな緑について、保全と創出に向けてこれからどう取り組んでいくか。

②子育てしやすいまちとして、子どもの遊び場や居場所、保育や学びの場の充実が必要では。

③駅前広場の開発等で、市民から反対の声が上がる事例が散見されるが、市民参画の仕組みづくり等をどう捉え取り組むか。

市長 ①第三次みどりの基本計画に基づき、みどりの将来像の、みんなであつなげる人とみどりがいきるまち実現のため、3つのみどりのまちづくりの基本方針と対応した15施策を進めていく。

②子どもの成長や発達の段階に応じた切れ目のない多様な保育サービスなど、安心して子どもを産み育てられる環境のさらなる整備が重要と考えている。

③公共施設の整備等では、施設の性格等に応じ取組を工夫し、市民の理解を得ながら進められ

るよう努めている。公共施設マネジメント推進計画では、更新後の施設に愛着等を持ってもらえるよう検討段階から市民参加を進める旨明記しており、今後も自治基本条例等に基づき、市民参加等の取組を推進していく。

一人会派の会

伊藤 央議員

市長の公約実現への取組と政治姿勢について問う

議員 87の政策に掲げた公約について工程を示すべきでは。

市長 市で定めた方針や計画ではないため、市において各項目の実現の工程を示す考えはない。各項目の記載内容のうち、新たな予算措置が必要なものは趣旨を踏まえて対応方法を検討し、実現可能なものは、順次、市の施策や事業として位置づけて実施していくため、それらについては内容に応じて、第1期中期実行プランや各分野の個別計画、予算の説明等で示していく。

コロナ騒動下の児童・生徒の学び、育ちの確保について

議員 感染予防目的の教育活動の制限が児童・生徒の学習等の機会を奪っている。通常の教育環境を取り戻す方針については、

教育長 教育は人格の完成を目指す営みであり、人との関わりの中で様々な体験を通し心身ともに成長できる学びを保障することが重要である。よって教育活動の制限は真に必要なもののみとする考えである。今後も感染リスクを可能な限り低減し、児童・生徒のよりよい成長に資する教育活動の在り方を国や都の方針等も踏まえ検討を続ける。

# 市政を問う 一般質問 要旨

**一般質問とは**  
議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

**QRコードについて**  
お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問・各会派の代表質問の録画映像をご覧いただけます。  
\* 市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。  
\* 映像の配信期間は、次の定例会初日の前日までとなります。配信期間終了後は、閲覧できませんのでご注意ください。  
(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



よりよい自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置のために  
津本裕子議員  
(市議会公明党)



**よりよい自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置のために**

**質問** ①設置についての概略とスケジュールは。  
②検討段階で保護者の意見をどのように反映させるのか。  
**教育長** ①令和3年3月に策定した特別支援教育総合推進計画第二期前期計画と、同年9月の市議会定例会で採択された請願を踏まえ、今後、検討組織を立ち上げ設置に向け準備していく。  
②学識経験者や保護者等で構成される特別支援教育推進委員会で年2回意見をもらうことも、設置に向けた説明会で意見を聞くことを予定している。

**一人ひとりが望む働き方を支援するために**

**質問** ①女性活躍推進協議会を設置し、市、事業者及び当事者で意見交換をすべきだが見解は。  
②都の働きやすい職場環境づくり推進事業を活用すべきでは。  
**市長** ①男女共同参画推進審議会に、小平商工会推薦の、<sup>※2</sup>ほぼ認定事業者が委員として参加し意見をもらっており、現時点で協議会設置は考えていない。  
②育児休業取得の促進等に対し奨励金を支給して働きやすい職場環境づくりに取り組む事業者を支援する事業で、市もホームページ等を通し周知していく。



中央エリアの整備／喜平町及び御幸町エリアの諸課題の改善  
橋本孝二議員  
(市議会公明党)



**中央エリアの整備を、小平の未来を担う活動拠点とするために**

**質問** ①設計に向け福祉と社会教育の複合化のため、市の横断的プロジェクトチームの発足は。  
②地域コミュニティ創出のためデジタル人材創出等に向け、場所の提供等を推進すべきでは。  
**市長** ①公共施設マネジメント推進本部等に加えワーキングチームを発足し、庁内横断的な会議を開催し検討を進めている。  
②仮称新建物に交流の場等を設け、地域課題の担い手育成の場を展開することとしており、DX・デジタル人材創出等にもつながり得ると認識している。

**喜平町及び御幸町エリアの諸課題を改善し、住みやすい地域に**

**質問** ①小平団地西交差点から関東管区警察学校正門までの国交大通りの北側歩道は、街路灯が車道に向けられており防犯上問題があるが、対策が必要では。  
②回田本通りの交差点から小平第八小学校までの鈴木中通りは、歩行者等から危険との声があるが、安全対策をすべきでは。  
**市長** ①歩道の明るさは一定程度確保されているが、今後、照度を上げることが検討していく。  
②注意喚起看板の設置等しているが、今後は取替え等さらなる交通安全対策を検討していく。



行政サービスを進めるべき／循環型社会を進めよう  
幸田昌之議員  
(市議会公明党)



**市民への行政サービスをさらに進めるべき**

**質問** ①2月にスタートした各種証明書のコンビニ交付の見えてきた課題、新たな展開は。  
②コロナ禍での窓口サービス向上のために取り組むことは。  
**市長** ①2月の交付件数が千四百6件と多く利用されており利便性の向上につながった。マイナンバーカードが必要なため市報等で案内し交付促進に努める。  
②市ホームページにWeb総合案内を開設し、閉庁時でも必要な情報を得ることができるほか、本年1月から82言語に対応できる携帯通訳機を導入等した。

**リサイクルセンターを拠点に循環型社会をさらに進めよう**

**質問** ①リサイクルセンター東側の地域還元エリアの活用は。  
②平成27年9月定例会で小型家電の分解作業を障害者施設や作業所での雇用につなげる提案等をしたがその後の検討等は。  
**市長** ①市役所駐車場を毎年5月開催していたごみゼロフリーマーケットを、5月に地域還元エリアでの開催を検討している。  
②作業規模を考えると処理しきれないため現状は難しい。回収ボックスからの回収作業等は市内福祉作業所に委託しており、障害者雇用を拡充している。



重症心身障がい児・者等への支援強化／図書館のあり方  
佐藤 徹議員  
(市議会公明党)



**重症心身障がい児・者等とその家族への支援強化を目指して**

**質問** ①医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者等の健康保持と、それを支える家族の無理のない在宅生活継続のため在宅レスパイト事業を導入すべきでは。  
②人工呼吸器を装着している障害児・者等への停電の備えとして、足立区のポータブル電源購入補助を本市も日常生活用具の種目に追加し支援すべきでは。  
**市長** ①夜間対応等の課題から実施に至っていない。短期入所拡充を引き続き障害福祉サービス提供事業所に働きかけていく。  
②障害者の日常生活の便宜を図り、自立支援等の促進が目的の事業のため種目追加は難しい。

**ウイズコロナ時代の地域センター！公民館・図書館のあり方**

**質問** ①オンライン講座のできる通信環境を全地域センター・全公民館に早期導入すべきでは。  
②図書宅配貸出しサービスの対象者要件を緩和すべきでは。  
**市長** ①WiFi環境の段階的整備に向け方向性を検討する。  
**教育長** ②介護が必要な高齢者だけでなく、来館困難な利用者全般への要件拡大を検討しているが、一定数のボランティア確保が必要になる。他市の事例等を参考に検討を進めていく。



保育士へ慰労金を／再び、コロナ禍での市職員の働き方改革  
中江美和議員  
(フォーラム小平)



**保育士へ慰労金を支給すべき**

**質問** ①コロナ禍で疲弊等している保育現場の実態把握は。  
②保育士に市独自事業として慰労金を支給すべきでは。  
**市長** ①職員等が陽性判明した際等の運営継続の判断や、保護者への周知方法の助言など緊密に連携し支援するなどしている。引き続き現場と一体で新型コロナウイルス感染症対策を進める。  
②児童の登園自粛等で施設利用がなくなった場合も、委託費を満額支給し賃金の保障などしてきた。今後も保育を継続実施するための経費等に対する補助

**再び、コロナ禍における市職員の働き方改革について**

**質問** ①令和3年度の定年退職及び勧奨退職を除く正規職員の職層別の退職者数は。  
②女性が働きやすい環境について、窓口業務等に女性職員が多く携わりテレワークができないと考えるが、解決への決意は。  
**市長** ①見込みを含み係長1人、主任1人、主事11人である。  
②窓口業務等が中心の課でも業務バランス等を調整し、テレワークを実践できるよう取り組んでいる。多様な働き方の実現に向けて引き続き検証していく。



来庁不要のサービス／市民の挑戦の応援のため既存施設活用を  
石津はるか議員  
(政和会)



**市役所への来庁が不要な行政サービスの充実を**

**質問** ①転入手続など複数の窓口対応が必要な現状への見解は。  
②DX推進について、市民や利用者のニーズ把握における現状の課題と今後の方針は。  
**市長** ①転入に伴う手続のうち、国民健康保険や小・中学校の転入学についてはワンストップで対応し利便性向上を図っている。  
②DX推進方針では構構として市民目線と市民本位の発想を掲げている。今後は全職員に浸透させ、市民ニーズ等を把握し、どうすれば利便性を高められるかなどの視点からDX活用

**市民の挑戦を応援するために既存施設や空き家等の活用を**

**質問** ①地域センターの利用率向上の主な施策と課題は。  
②創業支援等のため既存公共施設の規制緩和や、空き家等とのマッチング促進が必要では。  
**市長** ①利用者数の減少が課題と捉えているが、本年4月から公共施設予約システムの導入で利用率の向上を図っていく。  
②前者は、起業など営利を目的とする団体等への規制緩和の予定はない。後者は、創業セミナーにおいて空き店舗ツアーを行い、創業の促進を図っている。



国交大通りの北側歩道にある街路灯



市民を守る、避難所管理運営  
マニュアル実施訓練について  
鈴木洋一議員  
(政和会)

市民を守る、避難所管理運営  
マニュアル実施訓練について

質問 ①令和3年12月18日に小  
平第十四小学校で避難所設置訓  
練が実施された経緯は。

②訓練参加者の人数と所属は。  
③避難所開設準備委員会を維  
持するために、防災危機管理課  
の職員定数は十分か。

④今回の訓練の評価は。

市長 ①中止となった総合防災  
訓練の参加予定者であった小平  
第十四小学校関係者等より、地  
域の訓練として行いたい旨の意  
向があり市も全面的に協力した。  
②近隣の自主防災組織、自治  
会及び小平第十四小学校のコミ

ユニティスクールの関係者等が  
26人、消防団第3分団が7人、  
市職員が9人の合計42人である。

③現在、避難所開設準備委員  
会開設の際は、同課職員が2人  
程度参加している。今後、同委  
員会等の開催が増えることが見  
込まれるため、まずは課内で業  
務分担の見直しを行うなど他市  
の状況等も参考に対応していく。

④実際の避難所と同様に体育  
館の全面を使用して間仕切り等  
の設置を行った。参加者からは、  
避難所開設時のイメージができ、  
理解が深まった等の意見が得ら  
れ、市も今後の参考となる訓練  
であったと認識している。今後  
は訓練内容の周知に努めていく。



ワクチンの効果、安全性に疑問  
特に子どもへの接種は慎重に  
伊藤 央議員  
(一人会派の会)

新型コロナウイルス感染症への  
対応、対策を改めるべき

質問 ①第6波感染者の大半は  
ワクチン2回接種済みの人か。

②1月28日の国の自治体向け  
説明会でファイザー社員がワク  
チンに感染予防効果は認められ  
ていないと明言したのは事実か。

③ファイザー社もモデルナ社  
もオミクロン株対応のワクチン  
開発を進めているが、従来型ワ  
クチンはオミクロン株に効果が  
ない、または薄いということか。

④3回目接種や5歳以上の子  
に接種するワクチンが従来型な  
らばワクチンの在庫処分では。  
⑤一般社団法人日本オーソモ



地区交流センター/中央エリア  
複合化/医療的ケア児の受入れ  
橋本久雄議員  
(一人会派の会)

小学校に併設される地区交流  
センターの運営形態はどうなるか

質問 ①地区公民館10館と地域  
センター19館は、地区交流セン  
ターに機能を集約する計画だが、  
小平第十一小学校に併設される  
地区交流センターの運営形態は。

②社会教育施設機能の保証は。  
市長 ①施設全体で利便性が高  
まり、コミュニティの醸成等  
につながる運営を検討していく。  
教育長 ②公民館機能を維持し  
つつさらに多様な人に関わって  
もらえるような施設を検討する。

医療的ケア児の  
通常学級での受入れについて

質問 ①通常学級で受け入れる  
に当たっての合理的配慮とは。  
②受け入れるが介助を保護者  
の責任で行っている自治体は。

③看護師等を配置し、通常学  
級で受け入れることへの検討は。  
④看護師等を配置し受け入れ  
ている市を調査しない理由は。

教育長 ①学校での学習上等の  
困難解消のため可能な限り施設  
の整備や活動場所の確保、人的  
支援等の配慮を行うことである。  
②各自治体の判断によると捉  
えており、把握していない。  
③多くの課題があると認識し  
ており、検討を進めている。  
④法の趣旨に則し検討してお  
り調査が必要な場合は検討する。



老朽化等進むマンション管理への  
対応/臨時の弁当給食の改善  
虹川 浩議員  
(市議会公明党)

再び、老朽化と高齢化が進む  
マンション管理への対応について

質問 ①令和4年4月施行の  
いわゆる改正マンション管理適正  
化法では、管理適正化のため必  
要に応じて助言等行い勧告でき  
るが、市はどう進める考えか。

②高齢化による管理組合の担  
い手不足等の事例に対し、市が  
主体的にサポートすべきでは。  
市長 ①先進自治体の動向を注  
視し、実施基準や方法、体制整  
備などについて検討していく。  
②市民から分譲マンションの  
相談があった際には市職員が直  
接聞き、専門的知見を要する相  
談があった際には必要に応じ都

の総合相談窓口を案内している。  
市立中学校の臨時の弁当給食の  
改善要望について

質問 ①保護者等による献立作  
成委員会の開催頻度等は。  
②冷めてもおいしい弁当給食  
にすることを目的に生徒へのア  
ンケート調査を実施できないか。

教育長 ①各学期に1回開催し、  
全校の給食担当教諭及び保護者  
委員に出席してもらっている。  
次の学期に提供予定である給食  
献立の確認を行い、改善要望等  
についての意見をもらっている。  
②弁当給食の味つけ等へのア  
ンケートを令和3年度実施して  
いるため再度実施の予定はない。



声を活用した事業の展開を/  
市の害獣などに対する対策を問う  
岡田しんべい議員  
(フォーラム小平)

市主導で声を活用した  
事業を展開すべき

質問 ①朗読について、高齢者  
や視覚障害者に対する効果や影  
響、需要の認識は。  
②市の事業でプロのナレーター  
や声優等を起用した実績は。

教育長 ①読書の機会や情報獲  
得の手段を提供する効果がある。  
読書へのバリアフリーが求めら  
れる中、耳で聞く読書は今後需  
要が高くなる認識している。  
市長 ②東京2020オリンピック競  
技大会終了後、小平市ゆかりの  
選手から市民に感謝を伝える動  
画制作で、地元ケーブルテレビ  
局のアナウンサーを起用した。

市の害獣などに対する  
対策について問う

質問 ①過去5年間で市が駆除  
した害獣の数は。  
②住宅地などで被害をもたら  
す鳥や小動物の駆除や対処方法  
について、周知の状況は。

市長 ①都の計画に基づきアラ  
イグマ及びハクビシンの駆除を  
実施しており、平成28年度11頭、  
29年度5頭、30年度8頭、令和  
元年度3頭、2年度2頭である。  
②野生の鳥獣の駆除は法律で  
原則禁止されている。市民の相  
談には、都の許可を得て駆除を  
行う事業者で構成される公益社  
団法人の案内等をしている。



自浄作用が働く仕組みづくり/  
マスク常用のリスク等も周知を  
安洋洋平議員  
(一人会派の会)

市民のため、そして職員のためにも  
自らを律する仕組みを

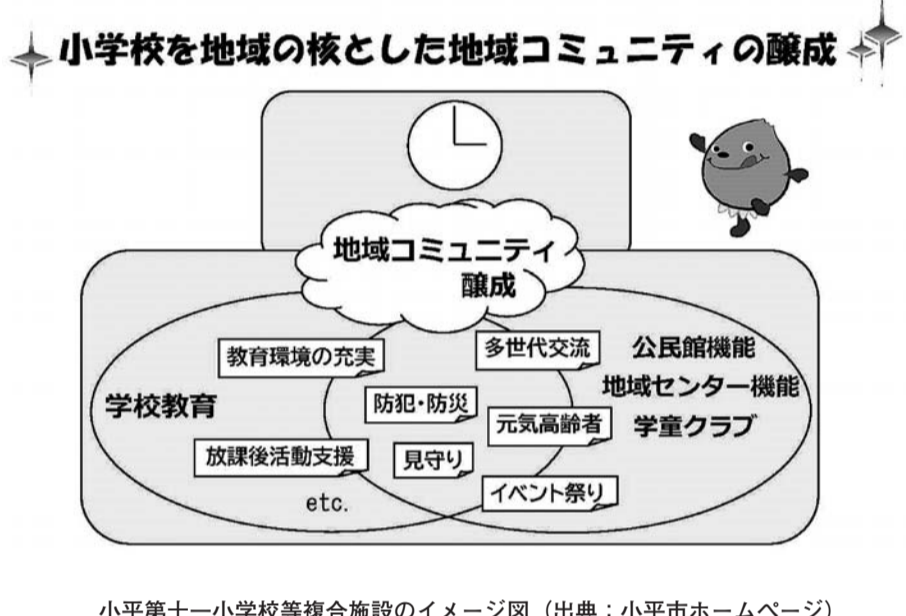
質問 内部統制等導入の検討は。  
市長 地方自治法上の内部統制  
を念頭に検討している。現在リ  
スク事案を整理し、4年度以降、  
内部統制の要素を一部取り入れ  
た試行運用に全庁的に取り組む。

いじめの対応を見直し、  
教育長への手紙を設けよう

質問 いじめ発生から解決に至  
るまでの、関係者との情報のや  
り取りも含めた、指針となる具  
体的な対応フローはあるか。  
教育長 小平市いじめ防止基本  
方針に、いじめ解消に向けた取

一般質問

一般質問



小平第十一小学校等複合施設のイメージ図 (出典:小平市ホームページ)

育施設、幼稚園においても  
請願第12号に做った対応を  
質問 ①市内保育施設及び市内  
幼稚園において、マスク着用  
の強制は許されるのか。  
②請願第12号に倣い、マスク  
常用のリスクや様々な特性によ  
りマスク着用が適さない児童が  
いることを周知するよう各保育  
施設や幼稚園に周知徹底する必  
要があると考えますがどうか。  
市長 ①無理して着用させるも  
のではないと捉えている。  
②国の通知等で子どもの発達  
等に配慮した対応等が示されて  
いるため、引き続き周知してい  
く。



障害者控除対象者認定/  
御幸町の開発予定地の安全対策  
きせ恵美子議員  
(日本共産党小平市議団)

高齢者の障害者控除  
対象者認定について

質問 ①身体障害者手帳所持者  
と要支援・要介護認定者の数は。  
②過去の障害者控除対象者の  
認定者数は。  
③障害者基本法の観点から障  
害者控除対象者認定の認識は。

市長 ①1月末現在、前者は6  
千84人、後者は要支援3千30人、  
要介護6千6百82人である。  
②令和元年度32人、2年度43  
人、3年度1月末で20人である。  
③65歳以上で身体障害者手帳  
等がない人にも障害の程度が同  
等程度の場合、市町村長が控除  
の対象者と認定するものである。

御幸町の開発予定地における  
五日市街道周辺の安全対策

質問 ①開発予定区域付近の横  
断歩道のみが設置されている交  
差点への信号機の設置は。  
②関野用水を日常生活等の通  
路として整備しては。

市長 ①交通管理者から交差点  
の約100メートル東側の交差点に  
信号機があるため設置は難しい  
と聞いている。交通ルール再認  
識の広報等の推進などしていく。  
②地域では整備を望まない意  
見や、一部で通行に支障を来す  
ため暫定的に整備をしている。  
引き続き住民と話し合い緑道整  
備に向けた環境づくりに努める。



子どもへのワクチン接種の前に  
情報周知と相談体制の充実化を  
山浦まゆみ議員  
(生活者ネットワーク)



### 子どもへのワクチン接種の前に 情報周知と相談体制の充実化を

質問 ①HPVワクチンの成分は203年の国が積極的勧奨を差し控える以前と比べ変更があるか。

②積極的勧奨が再開されても副反応のリスクについて中立的な立場で伝えていくべきでは。

③新型コロナウイルスワクチンについて、修学旅行等の学校行事や部活動への参加において、接種への圧力や差別などが起こらないよう留意していることは。

市長 ①以前のHPVワクチンと変更がないことから、成分に際しても変更がないものと東京都から聞いている。

②接種による予防効果のメリットと副反応のリスクの双方について、国のリーフレットを送付するなど検討、判断するために必要な情報提供を行っていく。

教育長 ③ワクチン接種を受ける、または受けないことについて、または差別が起こらないよう、ワクチン接種は強制ではないこと、周囲にワクチンの接種を強制してはいけないこと、身体的な理由や様々な理由によって接種することができない人や接種を望まない人もいることなどを時機を捉えて児童・生徒に指導するとともに、保護者に対しても理解を求めるよう各学校に通知している。



複合化する小学校の考え方/  
新しい生活様式の新学期に向けて  
川里富美議員  
(フォーラム小平)



### 複合化する小学校の考え方/ 新しい生活様式の新学期に向けて

質問 ①小平第十一小学校の建て替えに際し、学校プールをなくしてはとの声もあるが考えは。

②複合化施設の使い方は。

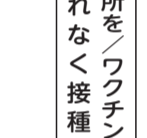
教育長 ①学校プールは天候の制限や多額の維持管理費がかかるが、屋内型市営プール等の活用も移動等に課題がある。今後、小・中学校プールの在り方の方向性を検討する中で同校敷地内での設置の可否を判断していく。

市長 ②学校と地域の施設を完全に分断すると地域コミュニティが育たない懸念がある。セキユリティーを確保しつつ地域

と学校の重なりをつくることを考えている。地域の人等の意見を聞きながら検討を進めていく。



農に触れ合える場所を/ワクチンを  
望む市民にもれなく接種を  
比留間洋一議員  
(政和会)



### 農に触れ合える場所を 望む市民にもれなく接種を

質問 ①体験農園で農園主が栽培指導している農作物は。

②参加した市民へのアンケートではどのような要望があるか。

市長 ①どの体験農園においても個別区画ではキュウリやトマトなど季節の野菜を年間20品目程度、共同区画ではサツマイモなどを指導している。また、小川町一丁目の華農園では花の寄せ植え体験を行うなどしている。

②アンケートを行う1園で、栽培品目を増やしてほしい、栽培の難しい野菜を指導してほしいとの要望があった。感想等では、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

③数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

④数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

⑤数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

⑥数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

⑦数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

⑧数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

⑨数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

⑩数値として示すことは難しいが、希望する人が確実に接種できるような体制を整えていく。

体験農園とは  
野菜づくりの楽しさや農作業の大切さを学び、食の大切さを学ぶ機会です。

1年間の予定 (園によって多少異なります)	
3月	参加者募集。畑づくり開始
4月	夏野菜などの植えつけ
5月	夏野菜の種まき。エダマメ、トウモロコシの種まき
6月	夏野菜の収穫スタート
7月	エダマメ、トウモロコシの収穫スタート
8月	夏野菜の片付け。秋野菜の準備
9月	秋野菜(ハクサイ、ダイコン、キャベツ他)の種まき、植えつけ
10月	秋野菜収穫開始
11月	小平市産業まつり参加(第2土曜、日曜)、冬野菜の収穫
12月	各園で収穫祭。冬野菜の収穫
1月	冬野菜の収穫。畑の片付け
2月	土づくり。来年度契約終了。更新。新規参加者様の募集 ※市報2月5日号で募集します。詳しくは市報をご覧ください。

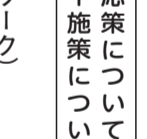
お問い合わせ  
小平市地域振興部産業振興課農産振興担当  
電話 042-346-9533

企画・発行  
小平市農業体験農園園主会  
(令和4年3月発行)

体験農園のパフレット(抜粋)(企画・発行:小平市農業体験農園園主会)



認知症への対応策について/  
市のエネルギー施策について  
さとう悦子議員  
(生活者ネットワーク)



### 認知症になっても安心して暮らせる小平市をつくらう

質問 ①現在の要介護認定は身体介護に重点が置かれていると感ずるが、見直しへの見解は。

②認知症の人が負担にならない労働等考えることへの見解は。

③認知症本人交流会、認知症介護者交流会の開催状況は。

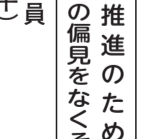
市長 ①市独自で見直すことはできない。

②自分らしく地域で生活ができるよう社会参加の機会を広げられるか研究していく。

③令和2年度は前者は3回開催した。後者は4回開催し、悩みを話せたなどの感想があった。



男女共同参画推進のため、  
身近にある無意識の偏見をなくそう  
吉本ゆうすけ議員  
(フォーラム小平)



### 男女共同参画推進のため、 身近にある無意識の偏見をなくそう

質問 ①男女共同参画を推進するためにアンコンシヤス・バイアスの解消に向けた取組が必要だが、これまで行った取組は。

②市作成の配布物等は、これまでにアンコンシヤス・バイアスについて考えられていたか。

③市作成の配布物等で、特に子育て支援に関わるものは、母親が行うものと決めつける内容にならないよう特段の配慮が必要と考えるが見解は。

市長 ①市民等に向けた各種講座やセミナーを年間を通じて開催しているほか、展示や市報等

の提供が課題だが今後の支援は、②国の生涯現役地域づくり推進事業について市の活用は。

市長 ①市報などで活動を周知するなど側面的な支援を行う。

②現在、活用の予定はない。

③国から学校へ配送された抗原検査キットのその後の対応は

質問 新型コロナウイルスの抗原検査キットに関して、学校関係者へ当面使用しないよう通達した理由と現在までの対応は。

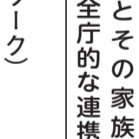
教育長 医療機関の受診を基本とし、当面使用しないこととした。令和4年1月医師会へ570回分のキットを提供し、残りは使用期限経過のため今後廃棄する。

質問 ①シルバー人材センターは高齢化する会員への就業機会

を



医療的ケア児とその家族を  
支援するために全庁的な連携を  
山崎とも子議員  
(生活者ネットワーク)



### 医療的ケア児とその家族を 支援するために全庁的な連携を

質問 ①医療的ケア児の受入れ体制が整っている事業所は。

②小平市医療的ケア児を支援する連絡会のメンバー構成は。

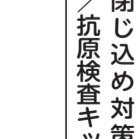
③市立保育園入所の希望があった場合の対応は。

④市立小・中学校の就学希望があった場合の対応は。

⑤市立小・中学校に看護師等を配置することへの検討は。



エレベーター閉じ込め対策/  
シニア活躍推進/抗原検査キット  
外山まなみ議員  
(政和会)



### エレベーター閉じ込め対策/ シニア活躍推進/抗原検査キット

質問 公共施設へのエレベーター専用防災備蓄ボックスの設置や、市内エレベーター管理者等への設置の助成事業の活用等は。

市長 庁舎の4基全てに防災キ

ャビネットを設置予定である。

質問 シニア世代の多様な活躍の推進を

を



第6波から市民を守るため／  
新型コロナウイルス子どもを守るため  
鈴木だいち議員  
(日本共産党小平市議員団)



第6波から市民の命と健康を守るために自治体独自の施策を

質問 ①有症状者の市民が市内でPCR検査を受けられず市外で受けている状況への把握は。

市長 ①市外医療機関でPCR検査等受けている人のことは認識しているが、市内での予約が取れないため把握できない。

②昨年6月末から10月末まで配布を通し悩みごとに応じた相談先の情報を提供してきた。多くの人に活用され支援につながり効果があつたと認識しているが、事業再開は予定していない。

新型コロナウイルス感染症の急拡大から子どもと保護者を守る

質問 ①市内保育現場での児童と保育士の1月、2月の陽性者数と登園自粛した児童の人数は。

市長 ①家庭内感染を含め陽性判明の児童は本年1月78人、2月14人、保育士は1月27人、2月44人、濃厚接触により登園自粛となった児童は約800人である。

教育長 ②陽性の児童・生徒数は1月が232人、2月が690人である。臨時休業は1月が30学級、2月が70学級である。



小学校35人学級編制／給食センター建て替え期間中の代替給食  
山田大輔議員  
(政和会)



小学校35人学級編制に伴うポストコロナ期を見据えた意向

質問 ①市立小学校35人学級編制政策の目的をどう捉えるか。

教育長 ①一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と、安全・安心な教育環境を整備すること

②市内東部地区を中心に児童生徒が増加している地域があり、教室の確保など学校環境の整備が大きな課題と捉えている。取組では、小学校の増築等の推進のほか東部地区では調整区域の見直しなどの対応を行っている。

学校給食センターの建て替え期間中の代替給食について伺う

質問 ①代替給食に対する生徒アンケートの回答を受けて、今後の改善策は。

教育長 ①味つけや配食量はおおむね適正と判断した。一方、デザートや牛乳以外の飲物の提供を増やしてほしいとの回答が計の範囲内で対応している。

②令和2年度まで学校給食センターで調理し、生徒に人気があつた調理パンや汁物が提供できないといった献立の制約があることと認識している。



財政非常事態宣言について／  
地域振興と健康長寿のために  
福至英俊議員  
(政和会)



財政非常事態宣言について

質問 今の財政状況では今後必要な行政サービスが提供できない懸念があるならば、財政非常事態宣言発出も検討すべきでは。

市長 同宣言は各自治体の考えの下行われるが、財政の早期健全化団体になるおそれがある場合等に、市民サービスに大きな影響が出るような事業見直しのために宣言されているものと捉えている。現状は同団体になるおそれなく宣言する考えはない。引き続き第1期経営方針推進プログラムに取り組みことで、財政負担の軽減を図り、持続可能な

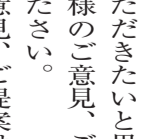
地域振興と健康長寿のために

質問 ①市内公共施設の階段に、消費カロリー表示付きの階段アートを設置してはどうか。

市長 ①設置による思わぬ事故を招かないようにしなければならぬなど、安全性に関する課題もあるため、各公共施設の特



議員の辞職  
令和4年3月31日、山崎とも子議員(生活者ネットワーク)から、市議会議長に議員辞職願が提出され、同日付で許可されました。



市議会へのご意見、ご提案をお聞かせください

市ホームページにおいて、「市議会へのウェブ提案箱」を試行的に設置しました。

よりよい市議会にするための

特別委員会中間報告

3月定例会初日に各委員長が行った特別委員会中間報告は次のとおりです。

広聴広報特別委員会(中間報告その3)  
委員長 福室 英俊

令和元年5月20日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。前回の中間報告(令和3年2月)以降の経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年3月16日、令和4年1月18日(計12回)

○主な内容  
・次回の議会報告会について  
・市議会だよりの充実について  
・小平市議会へのウェブ提案箱に提出された意見等の取扱いについて 外

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)

○主な内容  
・駅前再開発事業の進捗状況について  
・令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)  
・近隣市視察(志木市) 外

参考にさせていただきたいと思  
いますので、皆様のご意見、ご  
提案をお寄せください。  
いただいたご意見、ご提案は  
広聴広報特別委員会検討の上、  
取扱いなどを市議会ホームページ  
に掲載させていただきます。

設置期間 令和4年4月1日から  
令和4年6月30日まで  
設置場所 市ホームページ

QRコードは  
こちら↓



用語の解説

※1 ゼロカーボンシティとは  
2050年に二酸化炭素の実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方自治体のこと。

※2 えるぼし認定制度とは  
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進状況等が優良な企業を認定する制度。管理職比率等の基準を満たす項目数に応じ4段階の認定に分かれる。

※3 アンコンシヤス・バイアスとは  
無意識の偏ったものの見方、無意識の思い込みのこと。

※4 防災キャビネットとは  
簡易トイレや救急用品など

非常時に役立つ物品を収納した箱のことで、エレベーター内などに設置される。

※5 基幹保育園とは  
通常の保育園業務を実施するほか、市内の公立・民間保育施設のネットワークを構築し、地域の保育の質を上げるための支援や連携の推進役、公立保育園等の食育の充実及び人材育成の役割を担う保育園のこと。

※6 財政の早期健全化団体とは  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率の基準を上回る場合、財政健全化計画を策定し、計画的に財政の健全化に向けて取り組む必要がある団体のこと。

スマートシティ小平推進調査特別委員会  
委員長 山崎とも子

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)

○主な内容  
・駅前再開発事業の進捗状況について  
・令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)  
・近隣市視察(志木市) 外

調査特別委員会  
委員長 橋本 久雄

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)

○主な内容  
・駅前再開発事業の進捗状況について  
・令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)  
・近隣市視察(志木市) 外

まちづくり調査特別委員会  
委員長 橋本 久雄

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)

○主な内容  
・駅前再開発事業の進捗状況について  
・令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)  
・近隣市視察(志木市) 外

調査特別委員会  
委員長 橋本 久雄

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)

○主な内容  
・駅前再開発事業の進捗状況について  
・令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)  
・近隣市視察(志木市) 外

まちづくり調査特別委員会  
委員長 橋本 久雄

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)

○主な内容  
・駅前再開発事業の進捗状況について  
・令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)  
・近隣市視察(志木市) 外

調査特別委員会  
委員長 橋本 久雄

令和3年6月8日に設置されて以来、付議事項について調査研究を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

○開催日 令和3年6月8日、令和4年1月20日(計5回)

○主な内容  
・駅前再開発事業の進捗状況について  
・令和3年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1)  
・近隣市視察(志木市) 外

一般質問

3月定例会

議案等に対する各議員の賛否

会派名略称 ( )内は各会派の議員数 政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 共産：日本共産党小平市議団(3) 生ネ：生活者ネットワーク(3) 一人：一人会派の会(3) 市民：まちづくり市民こだいら(1…無党派)

Table with columns: 区分, 番号, 件名, 議決結果, 議員名 (政和, 公明, フォ, 共産, 生ネ, 一人, 無党派), 賛成, 反対

○：賛成 ×：反対 退：退場 ※議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案等 ※1 ※2

Table with columns: 区分, 番号, 件名, 議決結果, 番号, 件名, 議決結果

※1 議長は表決に加わりません。 ※2 山岸真知子副議長は、議長の欠席により議長職務のため、市長提出議案第1号、11号、16号及び請願第12号の表決に加わりません。

「市民と議会の意見交換会」を開催します

テーマ 「安全・安心な 住みやすい小平を目指して」

市議会では、今年初めての意見交換会を開催します。たくさんの方からご意見やご提案をいただきたいと考えています。ご参加をお待ちしています。

- 日程 5月15日(日)午後2時から午後4時まで
会場 学園西町地域センター 第一・第二集会室
内容 3月定例会の報告、テーマや市政全般についての意見交換
費用 無料
定員 36人 ※当日会場へ(事前申込み不要、先着順)
問合せ 議会事務局 ☎042(346)9566

※ 磁気ループ設置・手話通訳あります。(事前申込み不要)
※ 保育あります。(1歳から就学前まで 定員5人)
ご希望の方は、4月28日(木)までに議会事務局へお申し込みください。
※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法を変更する可能性があります。
詳細はホームページ (https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/096/096477.html) をご覧ください。QRコードは右記のとおり。



FAX 042(346)9567
042(346)9566
042(346)9565
042(346)9564
042(346)9563
042(346)9562
042(346)9561

3月定例会では各会派からの代表質問が行われたほか、様々な議案について活発な議論が交わされました。
今後もより分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。
お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。
〒187-18701 小平市小川町二丁目

あとがき

《小学3年生》
○2月15日 学園東小61人

議場見学

的に報告し、公表してください。
請願者 小平市回田町 島京子 外101人

採択された請願の処理状況の報告を 求めることについて

個人情報保護の観点から、請願者の住所、氏名は、ホームページや市議会だよりで非公開に

請願者の住所、氏名をホームページや市議会だよりで非公開にもできるように することについて

1 定例会等で閲覧可能な資料をWeb公開してください。
2 傍聴席で、スマートフォンなどを閲覧目的で利用できるよう検討してください。
3 会議録のWeb公開時期を

市議会の傍聴に関する環境改善について

1 定例会等で閲覧可能な資料をWeb公開してください。
2 傍聴席で、スマートフォンなどを閲覧目的で利用できるよう検討してください。
3 会議録のWeb公開時期を

け、会話を控える。「ウ喫食の際、マスクは喫食直前に外し、喫食後は速やかにマスクを着用する。」の部分について、文部科

請願・陳情

3月定例会では、請願3件を新たに受理し、3件を採択しました。また、継続審査となっていた1件の請願を採択しました。陳情は1件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

市立小・中学生の健全な成長、発達のための教育活動を求めることについて

1 常時マスクを着用することによる長期的影響は正確なデータがないため、感染予防と、児童・生徒の健全な成長、発育及び学習環境に与えるリスクとの両面について教職員、児童・生徒、保護者に周知してください。
2 身体的、精神的及び発達上の問題でマスクを着用できない児童・生徒がいること、また常時マスクを着用することに対し、不安や不快、不調を感じ、学校生活に支障を来している児童・生徒がいることを児童・生徒、保護者に周知し、前記理由でマ